



できる開発者の活動・行動マトリックス (大項目ごとに1~2枚、合計約10枚)

できる開発者のイメージ :

大項目	必要能力	詳細項目	実施事項	実施方法	結果と解決
例 開発能力	.....	.....	.....	.....	.....
	.....	.....	.....	.....	.....
	.....				

\*分類は 各社様、各開発部によって異なります

\*貴社のオリジナルなものができます

利用する思考モデル一覧 (各場面において利用するものです)

1. ナレッジファシリテーション
2. ナレッジイネープリング技法
3. オズボーン
4. TRIZ
5. V字工程法則
6. 商品創造方法論

### 研修対象者

・開発社員      ・開発リーダー      (20名以内)

### 研修時間

1. できるモデル作り      1日間 (半日2回でも可) 6時間
2. マトリックス提示      作成は講師が行います。できるモデルマトリックスは翌日もしくは数日以内にメールで送付します
3. フォロー      2か月後、3時間。結果フォローをします  
(事前に結果表を提示して頂きます)

### 研修場所

貴社指定場所

### 研修費用

一式 150万円+税+交通費(東京から)

### 研修講師

当社専属講師 (ファシリテーター) で多数の経験者

### 講師実績

一流企業から有力ベンチャーまで300社以上の実績があります。

### NDA締結

研修前に貴社にNDAを提示致します

### 実施フロー

## 1. 事前準備

事前に貴社の開発商品等を開発者の状況をお聞きします。話せる範囲でお話し下さい。(NDA締結後)

## 目標値設定

何名をどのレベルまで行うのかの設定  
(貴社設定後、こちらに提示ください)

## 2. 研修 1日目 「できるモデルづくり」 6時間

- ①講師と受講者と**ディスカッション・ファシリテーション方式**が基本です
- ②開発に必要なプロセス等含めて、**能力・活動・行動の大分類**をします  
\* 貴社の開発状況に合わせて実施します。
- ③**グループに分かれて具体的な能力を思考し、発表**します  
\* 講師が発想方法、思考のまとめ等を講義後、実際の開発場面について**現状のやり方、ベストなやり方を思考し、誘導して行きます。**
- ④ある程度まとまった所で、**講師が不足事項についてフォロー**します  
\* できるモデルに達しているかどうかを講師が判断し、不足事項があればその事項について述べます。その事項についてさらにディスカッションを実施し、できるモデルを追加します。
- ⑤**再度ディスカッションをして思考し、発表し、最終的にまとめ**ます  
\* この時点で「何をどうする」を確定させます。この時点ではまだポストイットを並べた状態になります。  
\* 受講者はこの時点で自分の弱点に気づき、何をどうしなければいけないのか理解します
- ⑥**これを大分類ごとにマトリックスに落とし込み**ます。こうすることで自分がやるべきこととその位置づけが分かります。
- ⑦最終的には全体での「**できるモデル**」を作り上げます

## 3. 2~3日後 「できるモデル」のまとめ提示 講師が作成提示

- ①講師がマトリックスを**エクセルに整理し、貴社に提示**します
- ②受講者に渡して頂き、**受講者はそのできるモデルに従って、自分の能力を高めるために、やり方を変えたりして実施して頂きます。そして、徐々に力を発揮して頂きます。**

## 「できる開発者の行動モデル」

株式会社 開発部

### 4. 2か月後 フォロー研修 「課題解決」研修 3時間

- ① 2か月経った時に自分が行った事、その**成果、課題について事前にレポート**を講師に送付頂きます。
- ② **フォロー研修を行います。3時間**
- ③ **各人の課題に対してその解決方法を指導します**

.....

目標達成度調査 1か月後(研修実施後3か月後)、個人ごとの目標達成度を調査下さい。

追加フォロー研修 (必要な場合のみ。別途費用が必要です。3時間)

まだ、目標に達成していない人のみが対象です。

何が問題かをお聞きし、フォロー致します。

費用 50万円+税+交通費(東京から)

.....

## 研修メリット

### 受講者メリット

- ① できる開発者(目標達成)になる
- ② フォロー研修により、自分の課題を解決できる
- ③ できる自分に自信が付く
- ④ さらに高いレベルの開発に挑戦し、実現させる

### 組織メリット

- ① 「できるモデル」は受講者以外の人にも利用できる
- ② 「できるモデル」を新しい開発業務に応用し、新しい開発にも応用できる
- ③ 新入社員の教育にも利用できる

### AIモデル

- ① 「できるモデル」で実行した個人の活動内容を蓄えることで、AIによる新

しい開発モデルを作り上げることができる

**問合せ、ご注文は**

アップ経営コンサルタント株式会社 <http://upkei.jp/>

東京都中央区日本橋浜町 2-61-6 1101 号

電話 03-5651-0702 Fax 03-5651-0703 [info@upkei.jp](mailto:info@upkei.jp)

研修部まで

メールでの問い合わせも可能です。メールは [info@upkei.jp](mailto:info@upkei.jp)